

令和 7 年第 2 回甲賀市教育委員会（定例会）会議録

開催日時	令和 7 年 1 月 23 日（木） 午前 10 時 00 分から午前 10 時 58 分	
開催場所	甲賀市役所 4 階 教育委員会室	
出席委員	教育長	立岡 秀寿
	委員	松山 顕子
	委員	池田 吉希
	委員	青木 秀樹
欠席委員	教育長職務代理者	野口 喜代美
事務局出席者	教育部長	柚口 浩幸
	次長（総務・管理担当）	谷 綾子
	次長（社会教育担当）	前田 三嗣
	次長（スポーツ担当）	福井 厚司
	次長（学校教育担当）	小島 靖弘
	教育総務課長	井上 大樹
書記	教育総務課長補佐	望月 一美
傍聴者	0 名	

議決・報告事項は次のとおりである。

1. 会議録の承認

- (1) 令和6年第15回甲賀市教育委員会（臨時会）会議録の承認
- (2) 令和6年第16回甲賀市教育委員会（定例会）会議録の承認
- (3) 令和7年第1回甲賀市教育委員会（臨時会）会議録の承認

2. 報告事項

- (1) 1月 教育長 教育行政報告
- (2) 令和6年第5回甲賀市議会定例会（12月）提出議案（教育委員会関係）の結果について
- (3) 市内小中学校における児童生徒の状況報告について

3. その他、連絡事項など

- (1) 令和7年第3回（2月定例）甲賀市教育委員会について
- (2) 令和7年第4回（2月臨時）甲賀市教育委員会について
- (3) 令和7年第3回甲賀市教育委員会委員協議会について
- (4) 令和6年度第2回甲賀市総合教育会議について

◎教育委員会会議

〔開会 午前10時00分〕

次長（総務・管理担当） 改めまして、皆さんこんにちは。本日は何かとご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただ今から、令和7年第2回甲賀市教育委員会定例会を開会いたします。まず始めに甲賀市市民憲章の唱和を行います。皆様ご起立ください。

（一同 市民憲章唱和）

次長（総務・管理担当） ありがとうございます。ご着席ください。

それでは、開会にあたりまして立岡教育長からご挨拶を賜り、引き

続きまして議事の進行をお願いいたします。

教育長

みなさんおはようございます。

1月20日から暦の上では、「大寒」で最も寒い季節なのですが、今日の気温は3月中旬であるとか、下旬などの報道がなされています。例年の1.5倍の量だといわれている花粉の飛散情報も出始め、急激な春の足音を感じます。

1月17日は、土用の入りでした。夏の土用の丑の日だけでなく、四季それぞれに土用があり、冬の土用もあります。「土」は四季の季節に深いかかわりがあるとのことで、年に4回、土用の期間があります。今年は1月26日が、「冬土用・未の日」でした。寒さに対抗するため、滋養強壮をつけるべく、「ひつじ」の「ひ」から、ひらめ、ヒラマサ、ひじき、「ひ」がつくものだけでなく、赤色のものにも縁があり、イチゴやリンゴなどもいいそうです。うなぎでも、ひつまぶしならいいかもしれません。

さて、先日、20歳のつどいが行われました。落ち着いた式典を見ながら、こんな言葉を思い起こしました。薫習(くんじゅう)という言葉です。布に香りが染みつくように、時間をかけて願いや思いが相手に伝わるという意味です。別の意味では優れた人に接していると、いつしか自分も優れた部分を身に着けることができるという解釈もあるそうです。子どもの人生のごく一部しか共有できないのは、どの教員も同じです。多用な中、十分な準備や教材を準備できなくても、学びは進み、子ども自身のなかで、教室で得た学びが、10年20年掛けてじわじわしみこみ、いつしか生きていく。この成人の皆さんに、20歳でその時にもしみこんで生きている学びがあってほしいと願いながら、現場でも、「薫習」となりうる授業に努めてもらいたいと改めて思ったところです。

さて、これからの日本の学びが薫習に値するのかわかりませんが、先日、中央教育審議会へ、初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について、諮問されました。

そこでは、授業数を削減することなく、教育課程を学校裁量で自由

に変えられるように柔軟性を示しています。その主なポイントは、小学校40分、午前5校時制、中学校45分授業による、余剰時間の生み出しと、生み出した時間を学習補充や地域学、探求や発展課題に活用していく部分が目玉かと思っています。

市長は、暮らしの中で見出した余白の時間を生かして、文化芸術・スポーツ・趣味などを楽しむことより、豊かな生活を送る「甲賀スタイル」を話されています。これを受けて、40分授業等で生み出された余白時間を、甲賀市なりに学習補充、地域学、発展に使っていく、学びの「甲賀スタイル」を検討していきたいと考えています。

また、中央教育審議会では、多様な学びの実現に向けては、情報活用能力と情報モラルの育成、不登校児童生徒への教育課程上の特例措置、さらには、デジタル教科書の採用を含めた教科書の分量および在り方などが検討されます。まだ諮問がされたばかりですが、答申がどう出るか注目していきたいと思っています。

さらには、教職員の不足に対しては、社会人の教職への取り込みをめざし、教員資格認定試験や特別免許状の交付などの内容が検討されていくことになっています。2026年に答申が出され、小学校は2030年度、中学校は2031年度から実施される予定となっており、今後の動向に注目していく必要があるところです。

本日は令和7年第2回教育委員会定例会にご出席いただき、ありがとうございます。承認案件3件、報告事項3件を予定しております。ご忌憚のないご意見、ご質問をいただきながら協議をしてみたいと思います。

以上、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

教育長

それでは、議事に入る前に、本日の案件で、2. 報告事項（3）市内小中学校における児童生徒の状況報告については、内容が個人的なことに関わりますので、非公開とするべきと考えます。非公開とすることにご異議はございませんでしょうか。

（全委員 異議なし）

教育長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、3分の2以上の賛成を得ましたので、非公開とさせていただきます。議事の進行にあたり、非公開となる案件につきましては、すべての議事の終了後に進めさせていただきます。

それでは、議事に入らせていただきます。

はじめに1. 会議録の承認（1）令和6年第15回甲賀市教育委員会（臨時会）会議録の承認、（2）令和6年第16回甲賀市教育委員会（定例会）会議録の承認、（3）令和7年第1回甲賀市教育委員会（臨時会）会議録の承認、資料1から3について、何かご質問等ございませんでしょうか。

（全委員 質問等なし）

教育長

特に、ご質問等ございませんので、ただ今の1. 会議録の承認については、原案どおり承認することとします。

教育長

それでは、2. 報告事項に移らせていただきます。（1）12月18日水曜日開催の第16回教育委員会定例会以後の教育長・教育行政報告について、資料4の中から以下の4件について報告いたします。

1点目は、1月16日木曜日に行われた、甲南中学校科学部の表敬訪問についてです。第68回日本学生科学賞において、「空から来た微生物」という、雨と雪の中の微生物の研究で、見事74,000点の応募の中から上位40作品に選ばれ、入選一等に輝きました。雨や雪の中に微生物が存在するという素晴らしい発想で、収集・整理・分類・特徴分析など地道ながら緻密な研究が進められました。参考資料がほとんどなく、自分たちの分類表により、季節により出現する微生物のグループを明らかにしました。部長の寺井さん、副部長の北川さんから、生活の中に役立つ科学の存在や、科学で不思議を解決していく楽しさを語ってくれ、さらには、将来の夢など熱い思いを語ってくれました。その後もマスコミ各社に報道されていました。

2点目は、1月18日土曜日に開催された甲賀市城郭歴史フォーラムです。人気のイベントで、300人以上のファンや愛好家が集まれ、「甲賀の城と同名中の掟書」と題して開催されました。

今回のフォーラムでは、在地武士の組織「同名中」にスポットを当て、明治大学商学部 清水克行教授から「大原同名中与掟」や甲賀町大原地域に残る城跡の特徴から、戦国時代の甲賀、そして「同名中」の様相を明らかにしていただきました。また歴史文化財課から、大原地域の城について立地や特徴が報告されました。

後半のフォーラムでは、滋賀県立大学名誉教授の中井均先生のコーディネートのもと、遺構と文献資料から見えてくる甲賀の城の魅力を伝えていただきました。また、甲賀の文化財情報や、イベントの告知のために、インスタグラムとフェイスブックにおいて、甲賀の文化財 SNS が 12 月から始められたことも、宣伝したところです。

3 点目は、1 月 19 日日曜日に開催されました、第 21 回甲賀市駅伝競走大会です。市スポーツ協会設立 20 周年を記念した大会となりました。伝統ある大会で、素晴らしい冬晴れの中、小学生から中学・高校・一般まで、75 チームの力走が繰り広げられました。昨年、行事が重なり参加チームの少なかった小学生部門は、今年はスポーツ少年団の各チームから 40 チームの出場が見られました。リザーブの選手が走る機会も設けられ、また、楽しんで走ろうというエンジョイミックスの部が新設され、より出場しやすく、様々なニーズにこたえる大会となりました。土山マラソンでのスタートからゴールまでの 2 時間に同じような小学生のイベントができるかと考えているところです。

4 点目は、昨日 1 月 22 日水曜日に、「第 17 回 B & G 全国サミット」に市長と部長とともに参加しました。B & G 財団の海洋センターが設置されている 379 の自治体の市長・教育長 750 名を対象に、各自治体において、B & G 海洋センターが果たせる役割について再考し、よりよい財団事業の構築を目指すとともに、相互の連携強化を図ることを目的に開催されています。

特別基調講演では、日本財団の笹川会長から「日本の将来は危ないか？」と題して、講演されました。強い信念のもと、国の将来を案じての強い警鐘の言葉も多くありましたが、私自身は、話の中で、「指導者は、市民が知らない先にある姿や、考えの及ばないその先の姿を示

すことがその役目である」と語られた言葉が印象に残りました。さらに、本来の「輿論」の示す通り、人々の議論に基づく意見を市民に分かるように伝えていくことが大切であり、世間一般の感情を示す「世論」に流される、願いをただ叶えることだけが指導者の役割でないとまとめられ、共感しました。

事例発表では、宮城県加美町の、障がい者を含む、一人ひとりに応えていく視点を大事にした取り組みと、北海道大樹町の町の総合計画を推進していく上での公共施設の活用、ミクロ的視点とマクロ的視点での報告がありました。

以上、1月の教育長 教育行政報告といたします。

教育長 それでは、ただ今の（1）1月教育長教育行政報告について、何かご質問等ございませんでしょうか。

松山委員 感想ばかりですけれども3点お話をさせていただきたいと思います。まず1つ目は、16日の甲南中学校科学部の表敬訪問です。資料を見せていただいたときも、お伺いしようと思っていた内容でしたので、詳しく聞かせていただき、ありがたいなと思いました。いわゆる中学校の部活で多いのは、スポーツであるとか、スポーツでなければ、吹奏楽が多いと思いますけれども、部活動のあり方、体制というものが、もう根本から考えないといけないという時代に来ています。自分の得意分野で、こういうふうに自分が疑問に思ったことを広げていって、自分の学習に繋げていったりというような活動ができるということ自体がいいことだなと思いますので、なかなか少人数の学校では、科学部を持つことが難しいでしょうけれども、何とか甲賀市中の子どもたちが、それぞれの子どもが持っている興味とかというものを広げていけるような、部活動の体制を今後とも考えていかないといけないと思ったのが1点です。

それから19日の駅伝のお話も聞かせていただきましたが、甲賀市の特徴として駅伝が盛んに行われているということになっていくと理想的だとも思いますので、この駅伝大会ももう21回ということで歴史を紡いでくださっていますけれども、いろんな形で、甲賀市で駅伝

が盛んに行われるようになればいいなと思ったのが、2点目の感想です。

3点目が、20日のB&Gのサミットで笹川さんのお話があったようですけれども、教育委員会としても、皆さんの求めるような教育なり、学校教育しかり、社会教育しかりいろいろな教育を提供できるようなことをいろいろ考えていかないといけないとは思いますが、先ほど笹川さんがおっしゃったように、例えば、一般的に見えにくい、先の部分を考えて、それを提示していくっていうのももちろん教育委員会として重要な仕事かなとも思いますので、今、教育長がおっしゃったような視点を私たちみんなが持って、日頃のいろんなこの会議でもしかりですけれども、考えていかないといけないなということを、私自身も含めて思わせていただきました。以上3点です。

教育長 ありがとうございます。

青木委員 甲南中学校の伝統的な科学部、顧問の先生がどういう感じで接されているのですか。顧問の先生の力量があると思いますが、顧問の先生は代わっていつているのでしょうか。

次長（学校教育担当） 以前、甲南中にいましたが、理科教員が顧問を担当していますが、うまい具合に引継ぎをされてやっておられます。今はずっと続けておられた理科教員が退職されて、外部指導員として続けていただいている状況です。

教育長 本当に多羅尾小のオペレッタしかり、指導者による部分は非常に大きいと思います。

松山委員 今後の部活動の継続にあたっては、市民の方々のお力を貸していただく方法の検討になってくるのですが、教員OBの方による、それまでに培ってこられたいろんなノウハウによるお力添えをお借りするということも、大いに考えていけたらなと思います。

池田委員 7万件のうちの40件ですか。

教育長 7万4千点とお聞きしました。

池田委員 それはすごいですね。

教育長 中・高の学生の科学研究では最高峰ですね。

松山委員

ただやっぱり、私のイメージですけれども、スポーツと比べると、日の当たり方というか、認知のされ方が低いところもあるかと思うしますので、そういう立派なことがあったということが多くに人に知られるといいなと思います。そうすると、私もやってみようというような子どもさんも出てくるかも知れません。

最近、理系分野の女子枠ができるなどの話も出てきていますので、私もやってみようというような子どもさんが出てくるためにも、周知ができたらと思います。

教育長

各大学、国もそうですけど、女子の理学部、工学部への入試枠を増やしたり、新たに学部を設けたり、国の動きは、本当に女子を増やしていく方向になっているので、まさに、部長で来られた寺井さんにはぜひ進んでほしいと思いました。

以前も、広報に全国大会出場などの記事が載りますと、他の種目の選手の活躍にも声をかけていただいたことも実際にありますし、こういった科学とかも、やりたい子どもたちに情報が入れば、自分の学校でもと考えられたり、ここへ行きたいなと思われたり、願いが叶うチャンスが生まれてくればいいなと思います。

教育長

他に、ご質問等はございませんでしょうか。

(全委員 質問等なし)

教育長

それでは、(1) 1月教育長教育行政報告は報告事項として終わらせていただきます。

続きまして、(2) 令和6年第5回甲賀市議会定例会(12月)提出議案(教育委員会関係)の結果について、資料5に基づき説明を求めます。

教育部長

それでは、2. 報告事項の(2)、昨年11月26日から12月23日にかけて開催されました、令和6年第5回甲賀市議会定例会の教育委員会関係提出議案の結果について資料5に基づき報告いたします。

まず、1ページの1の条例制定、(1) 議案第92号 甲賀市文化芸術振興条例の制定につきましては、12月13日に開催されました厚生文教常任委員会において審議の上、同日、委員会採決で可決いただ

きました。

次に（２）議案第９７号公共施設使用料（据え置き分）の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、１２月１７日に開催されました総務常任委員会において審議の上、同日、委員会採決で可決いただきました。

次に、２の補正予算案件の（１）議案第１００号 令和６年度甲賀市一般会計補正予算（第４号）の教育委員会関連の主な内容につきましては、歳入補正として、記載しています国庫支出金や寄付金、２ページ上の起債替えによる市債となっています。

次に歳出については、人件費の調整や寄附金を財源とするゴルフ振興事業負担金、東部学校給食センター改修事業にかかる予算補正であります。

次に、繰越明許費の補正については、新たに水口城跡環境整備事業を追加し、東部学校給食センター改修事業においては繰越明許費を増額いたしました。

債務負担行為の補正については、森林環境学習やまのこバス運行業務委託及び信楽小学校改築事業を計上いたしました。

また、地方債の補正については、学校給食センター整備事業の地方債の限度額の増額を行ったものであります。

いずれも１２月１８日に開催されました予算決算常任委員会において審議の上、同日、委員会採決で可決いただきました。

次に、３．その他案件の（１）議案第１２６号から議案第１３０号の教育委員会所管の文化ホールや資料館などの施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについては、いずれも１２月１３日の厚生文教常任委員会において審議の上、同日、委員会採決で可決いただきました。

次に、（２）議案第１３５号は、令和２年３月３０日に契約した小学校教師用教科書及び指導書の財産取得について追認の議決を求めたことについては、１２月１３日の厚生文教常任委員会において審議の上、同日、委員会採決で可決いただきました。

以上、市議会１２月定例会に提出いたしました教育委員会関連の議案につきましては、１２月２３日の本会議で採決され、いずれも原案どおり可決いただきました。

次に、代表質問についてであります。

資料５ 別紙１のとおり、今議会では４会派から代表質問をいただきました。

質問の要旨は記載の通りで、内容は市長の三期目の所信表明に伴い、その考えを問うものなどとなっており、教育委員会関連は、「小中学校の再編計画の推進」や「歴史・文化の伝承」、「国スポ・障スポへ後のスポーツ振興」、「高等教育の無償化」「学校給食費の無償化」、「教育環境の整備」などについて、質問がありました。

次に、資料５ 別紙２のとおり、一般質問は７名の議員の方々から、質問をいただきました。

まず、木村眞雄議員からは、「コミュニティスクール及び地域学校協同活動の現状」などについて、次に、糸目仁樹議員からは「ジビエ給食の導入」について、次に、田中喜克議員からは、「市内の総合型地域スポーツクラブの現状と課題」などについて、次に、福井進議員から、「困窮・ひきこもり、青少年就労支援」について、次に、谷永兼二議員から、「スポーツによる地域活性化・地域スポーツコミッションの可能性」について、次に、西山実議員から、「大阪・関西万博への教育旅行」などについて、最後に、北田麗子議員から「女性の草刈り参画など」について質問がありました。

なお、答弁内容につきましては別データの答弁書のとおりでございますので、説明は省略させていただきます。

以上、令和６年第５回甲賀市議会定例会１２月提出議案の教育委員会関係の結果についての報告とさせていただきます。

教育長

それでは、ただ今の（２）令和６年第５回甲賀市議会定例会（１２月）提出議案（教育委員会関係）の結果について、何かご質問等ございませんでしょうか。

池田委員

指定管理者の指定についてのことですが、前に情報をいただく機会

があったかもしれませんが、競合状況っていうか、何者かは応募があったかなかったというのはどうですか。

教育部長 今回の１２６号から１３０号まで、何件かは、指定管理者については競合ではなくて、それぞれ理由があって、非公募でさせていただきました。選定委員会の方からは、去年のスポーツ関係も含めて、基本はやはり公募をしていった方が良いという意見をいただいているということでございます。これからについてやはりそういうことをしっかり教育委員会としても考えて指定管理者の選定に取り組んでいきたいというふうに考えています。

次長（社会教育担当） 公募もありましたので、確認いたします。

池田委員 どういう意図の質問かというと、以前、競合になって大変厳しいかもしれないと当事者の方にお聞きしたことがあります。外部の業者さんで全国的にやっているところもあつたりします。効率性を重視すると、そういうところが入ってくる可能性があるという一方で、聞いても安心できるというか、地元の方が運営されていて、経緯があるところが継続してやっていくっていうのは、大分違うので、また教育委員会でそもそも単純に、公募すれば効率はいいけども、市民さんから見た場合の配慮も必要であるというふうに思ったので、ちょっとお聞きしました。

次長（社会教育担当） 水口城資料館は公募でしたが、他に応募がなかったのも、非公募にしたということになります。

池田委員 その他、基本的にはあまりないんでしょうね。

次長（社会教育担当） ほとんどが非公募です。

教育部長 選定委員会というのは、外部委員さんもいらっしゃって、市内だけでなく関連する専門的な委員さんに入っていていただいております。客観的な視点でご意見をいただきますので、やはり公募というご意見をいただく方も当然いらっしゃいます。

池田委員 両方のご意見をよくお聞きします。それで、ちょっと管理が良くなったという話もそうです。

教育長 他に、ご質問等はございませんでしょうか。

(全委員 質問等なし)

教育長 それでは、(2) 令和6年第5回甲賀市議会定例会(12月)提出議案(教育委員会関係)の結果については報告事項として終わらせていただきます。

続きまして、3. その他、連絡事項に入らせていただきます。(1) 令和7年第3回(2月定例)甲賀市教育委員会について、(2) 令和7年第4回(2月臨時)甲賀市教育委員会について、(3) 令和7年第3回甲賀市教育委員会委員協議会について、(4) 令和6年度第2回甲賀市総合教育会議についてあわせて説明を求めます。

教育総務課長 (1) 令和7年第3回(2月定例)甲賀市教育委員会については、令和7年2月5日水曜日、総合教育会議終了後の15時45分から、
(2) 令和7年第4回(2月臨時)甲賀市教育委員会については、2月27日木曜日午後2時から、(3) 令和7年第3回甲賀市教育委員会委員協議会については、2月19日水曜日午後2時から開催させていただきます。また、(4) 令和6年度第2回甲賀市総合教育会議については、2月5日水曜日午後1時30分から開催させていただきます。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

教育長 ただ今の連絡事項について、何かご質問等ございましたでしょうか。
(全委員 質問等なし)

教育長 それでは、連絡事項につきましては終わらせていただきます。

続きまして、2. 報告事項(3) 市内小中学校における児童生徒の状況報告について報告を求めます。これより後は非公開の案件となりますので、傍聴者の方はご退出をお願いします。

《以下、非公開》

報告事項(3) 市内小中学校における児童生徒の状況報告について

次長(社会教育担当) 先ほどの指定管理の件ですが、もう1件、129番の旧水口図書館の指定管理が公募でございましたが、応募が一者しかなかったということでございます。

教育長 それでは、以上をもちまして、令和7年第2回甲賀市教育委員会定

例会を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

〔閉会 午前 1 0 時 5 8 分〕